

あきる野市長 村木 英幸 様

新型コロナウイルス感染防止に関する要望書

2020年4月9日

三多摩健康友の会秋川流域支部

支部長 影山 保

日頃より市民の健康といのちを守るため、ご尽力いただいておりますことに心から感謝申し上げます。新型コロナウイルスの感染が広がる中、感染防止をはかるため健康友の会員から多くの要望が出されています。多くの要望の中で、特に強い要望となっている下記の事項について、あきる野市において是非ご検討いただきたく要望致します。

- 1、 新型コロナウイルス感染予防のために、マスク、消毒薬が市民の手に届きにくくなっています。医療機関、介護事業所、障害者施設、呼吸器疾患などの患者、障害者には優先的に必要な量を支給してください。政府が支給するマスクが障害者の方に届いていますが、耳にかけるひもはゴム状になっておらず、サイズが異なる方には使用できません。実態を調査し必要なマスクが届くようにしてください。自治体がマスクの材料を確保し、作ってもらうなどの配慮をお願いします。
- 2、 あきる野市民への相談窓口が西多摩保健所を案内されています。電話の件数は多くてかかりにくくなっています。相談場所を増してください。また、あきる野市のコロナウイルスに関する情報が主にホームページに限られており、インターネットを使用しない、できない高齢者は事実上排除されています。相談窓口の案内を町内会の掲示板への張り出し、回覧板で回すなど広く周知をはかってください。
- 3、 コロナウイルス検査がなかなか受けられないのが実態です。希望者にはコロナウイルス検査が受けられるようにご尽力下さい。
- 4、 コロナウイルス感染の影響を受けて収入が大幅に減っています。すみやかに収入補償を受けられ、安心してコロナウイルス感染防止のための休業など出来るように、国・東京都に要望をお願いします。

以上.